

光の道のごとく

自然と街と人が調和し、豊かな
を育んできた新津。

牛馬が往来し、子どもたちが
手綱を引いた時代は、むぎ色
の写真の中だけである。

阿賀野川に映える朝日もセピア色。

過去と一筋の光でつながって
私たちに温かいメッセージを
送っている。

そして振り向くと、光の道は遠く
向こうまで続いている。

市制施行40周年特集号

91-0673

1.1